

廃止措置における放射線防護モニタリング

ヨアキム グスタブソン

オスカーシャム原子力発電所、OKG

Email: Joakim.Gustavsson@okg.uniper.energy

我々は長年にわたって原子力発電所の運転に関与してきており、様々な放射線防護（RP）の状況において何をどのようにするかを知っている。しかし原子力発電所の廃止措置においては、同様の経験を有していない。今まさに OKG 社では、そのシステムや目的の特徴づけや分類化を進めているところである。どういうものが好ましく、それをどのように実施するかについて、そしてそれをどのようにして知るべきか。一つ出来得ることは、放射線防護をモニタリングすることである。OKG 社では、いくつかの KPI（key performance indicators：鍵となるパフォーマンス指標）を有している。CAP システムの傾向を掴んで放射線関連の事象を分類化し、運営会合においてすべての個人線量と集団線量、汚染の拡散について把握をする。